

子どもたちの 未来をつくる食と農業



～日本の食と農業危機のリアル～

農業経済学者
東京大学教授 元農水省官僚
講師 **鈴木宣弘氏**



● 講師プロフィール 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授。
1958年 三重県志摩市生まれ。1982年 東京大学農学部卒業後、農林水産省、九州大学教授を経て、2006年より現職。コーネル大学客員教授。食料・農業・農村政策審議会委員、国際学会誌Agribusiness 編集委員長を歴任。一般財団法人「食料安全保障推進財団」理事長。

● 著書 『食の戦争』(文藝春秋)、『悪夢の食卓』(角川書店)、『農業消滅』(平凡社新書)、『協同組合と農業経済～共生システムの経済理論』(東京大学出版会)等、著書多数。

2024
5/26日
13:30~16:00
(13:00 開場)

会場 **天神ビル** 11階10号会議室
福岡市中央区天神2-12-1

参加費 事前申し込み **2,500円**
当日受付 **3,000円**
18歳未満 **無料**

一般党员・運営党员の方はさらに500円引き

党员でない方も**党员招待割引**で500円引き

※事前申し込みは前日17時までになります。

日本の「食」を支える農業が、今どんな状況にあるのか？
皆さんは、ご存知ですか？

日本の食料自給率は 38%
タネや肥料を含めた真の食料自給率は、なんと8%!?

食料や農業資材を海外からの輸入に頼っている日本

農家さんの高齢化や農地の減少、さらには近年の異常気象やパンデミック、中国による爆買い、不安定な国際情勢などの影響により、状況は、生産、物流ともに悪化する一方です。

私たちの大切な命の源である「食」が危機的状況にある中で、環境、地域、国土を守る「食料安全保障」の観点から、安全な食料を確保するために国民として食の問題にどう向き合い、何をすべきか？

一緒に考えてみませんか？

このような方にオススメです！

- ✓日本の食と農業の現状について知りたい
- ✓食糧自給率38%の日本で、輸入がストップしたら不安
- ✓輸入食品の安全基準がどうなってるか知らない
- ✓家族に安心なものを食べさせたい
- ✓今私たちにできることを知りたい

！ お申込み時のご注意

◇事前予約は、満席になった時点もしくは開催日前日の17時が締切となります。お支払いは、クレジットカード(VISA、Mastercard)とコンビニ決済となります。なお、空席がある場合は当日に限り現地にて現金でのお支払いで受付可能となります。
◇決済完了後のキャンセルによる返金は致しかねますので、あらかじめご了承ください。
◇お申込みのメールアドレスに関して携帯キャリアメールをご使用の場合や、PCメール受信拒否などの設定により認証メールが届かない場合がございますのでご注意ください。◇18才未満のかたは学生証などの提示をお願いすることがあります。◇チケット原券の発送はいたしません。当日受付の際にお名前をお伝えください。

詳細・お申込は
こちらから

